

のうぶく通信

【第1号】2023年6月発行

発行元：新潟市あぐりサポートセンター

農業を元気に！ 福祉を元気に！ 地域を元気に！

【農福連携】農業と福祉が連携することで、障がいがある方が、農業分野で活躍する事を通じて、農業経営の発展と共に、障がいがある方の自信や生きがいを創出し社会参画を実現しています

新潟市あぐりサポートセンターは、新潟市内の障がいがある方の働く場を農業分野で広げていけるよう、障がいがある方が通所している福祉事業所と農業者をつなぐ役割を担っています。平成27年に開設して以降、農業者が依頼する畑などへ福祉事業所職員と共に外向いて作業を行うカタチ（施設外就労）で数多くコーディネートをしてきました。継続できずに終了した連携もありますが、年数を重ね、農業者の依頼先に向いて作業を行う以外でも、施設内で出来る作業の依頼や、農業者の協力を得ながら福祉事業所が販売を目的に自ら農業を実践する取り組みも生まれ、互いを理解し合うことで絆を太くしていると感じています。この度、《のうぶく通信》を発行し、新潟市内で行われている作業連携の紹介・研修会等の案内や、農業と福祉の双方が感じている事をお伝えしたいと考えています。また、皆様からも農福連携についての情報やご意見等を頂き、発信できましたら幸いです、お待ちしております。

令和4年11月【のうぶく交流会】を行いました。

農業と福祉の関係づくりとして《農産物を利用したレシピ》を3名の農家さんから紹介頂き、参加者が一緒に調理しながら双方が交流する場を開催しました。

小松菜、ブロッコリー、人参、大根等の季節野菜メニューと合わせて、各農家さんの新米食べ比べも実施。同じ《こしひかり》でも特別栽培米・自然栽培米等、栽培方法に違いがある事や栽培の苦労話も聞くことが出来ました。手を動かしながら、それぞれの現状や今後の希望等、会場内は自然な会話が沢山生まれて、和やかな雰囲気となっていました。

参加者からは『調理をしながら、気軽に話ができて良かった』『気づいていない苦労がある事が解った』『調理も良いが畑と一緒に農作業も良いのでは』等の感想がありました。双方の理解を深める場を今後もつくっていきたいと思います。



～令和5年春～

《ブロッコリー栽培》



西区で農業者から畑を借り、栽培を教えながら農産物の生産を行っている福祉事業所があります。2ヶ所の事業所が同じ畑で、同じ作物を各事業所が栽培し収穫物は事業所の近隣で販売しています。3年目になる今年は、春にブロッコリーとジャガイモを栽培し、収穫後に晩生の枝豆を栽培する予定で作業開始。4/27に、2事業所合わせてブロッコリー苗を約500株、ジャガイモの種芋を約100ヶを植え付けしました。6月中～下旬の収穫に向けて、今後は追肥や除草作業を行っていきます。



《水田除草》

無農薬で水稻栽培を行っている農業者より、水田除草作業の依頼があり、現地での作業説明・作業体験を行いました。田植え後から7月初め頃までに、出来るだけ草が伸びない状態で取り除くことで、稲がしっかりと根を張り成長が良くなるそうです。広い区画ではないので、片道15メートル程を20～30分かけて歩きながら手で草を取ります。



田植え後2週間後の水田で、作業体験を実施しました。ほとんどの方が水田に入ることが初めてなため、足がぬかるみに取られて転びそうな場面も見られましたが、徐々に歩き慣れて動くことが出来ました。

「外作業は気持ちが良い」と笑顔で作業を行っていました。作業を依頼された方は「1人では大変な作業であるが、大勢で行うと早いだけでなく、作業を楽しく行う事が出来た。作業をしながら稲の成長を感じて【おコメに関心】をもってもらえたら嬉しい」と話されていました。



～ご案内～

◆ボイセンベリーの収穫作業◆

作業場所は【西蒲区松野尾】作業日程は【6/20頃～2週間の予定】午前と午後、それぞれ4名程度での作業実施の依頼がありました。複数の福祉事業所が交代で対応できるように調整しています。ボイセンベリーは含有成分（ポリフェノール・アントシアニン・亜鉛等）が、健康や美容効果に期待されている果実で、緑 → 赤 → 黒 に変化していきます。赤から黒に変わる頃の果実を手で収穫します。手作業なので人手が多く必要となります。



◆ワインぶどう収穫作業◆

西蒲区角田浜にある【カーブドッチワイナリー】では、管理作業の一部や収穫作業を複数の福祉事業所へ作業委託しています。栽培面積の拡大にともない委託先を増やしたいために、現地にて作業見学体験会を6/22（木）に実施する事になりました。



（詳細は別途、ご案内します）

※記載内容についてのお問い合わせは下記へ、お願い致します。



《お問い合わせ先》

新潟市あぐりサポートセンター

所在地：新潟市中央区八千代 1-3-1 新潟市総合福祉会館1F

連絡先：(Tel) 025-256-8383 【担当：佐藤】

(Mail) aguri@atago.or.jp

